

製品安全データシート

会社名 テクノエコー株式会社
住 所 埼玉県入間市寺竹 5 2 3 - 3
TEL 04-2937-1061
FAX 04-2936-5231
担当部門 製造部
緊急連絡先 TEL 04-2937-1061
作成年月 平成 1 8 年 7 月 2 4 日

整理番号 CA0001

製品名 試薬 A 0.028mol/lチオ硫酸ナトリウム溶液

物質特定

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分 1

化学名 : チオ硫酸ナトリウム

成分及び含有量 : 約 0 . 4 4 % (4 . 4 2 7 g / L)

化学式又は構造式 : $\text{Na}_2\text{S}_2\text{O}_3$

官報公示整理番号 : 化審法 1 - 5 0 3 安衛法 公表

C A S N o : 7 7 7 2 - 9 8 - 7

成分 2

化学名 : 炭酸ナトリウム

成分及び含有量 : 約 0 . 1 9 % (1 . 8 5 g / L)

化学式又は構造式 : Na_2CO_3

官報公示整理番号 : 化審法 1 - 1 6 4 安衛法 公表

C A S N o : 4 9 7 1 9 - 8

成分 3

化学名 : 水

成分及び含有量 : 成分 1 及び 2 の残量

化学式又は構造式 : H_2O

官報公示整理番号 : 記載なし

C A S N o : 7 7 3 2 1 8 - 5

危険有害成分 : 該当する危険有害成分なし

危険有害性の要約

有害性	: 有害性は少ないが、多量に飲み込むと消化器が刺激され、悪心、嘔吐などを起こすことがある。
環境影響	: データなし
物理的及び科学的危険性	: 不燃性であり、危険性は特にない。

応急措置

吸入した場合	: 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいさせる。
皮膚に付着した場合	: 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
目に入った場合	: 直ちに流水で十分に洗い流す。
飲み込んだ場合	: 直ちに水を飲ませる。必要に応じて医師の処置を受ける。

火災時の措置

消化剤	: この製品自体は、燃焼しない。
特定の消火方法	: 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。
消化を行う者の保護	: 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 作業の際は、適切な保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入したりしない様にする。
環境に対する注意事項	: 特になし
除去方法	: 少量の場合は、ペーパータオル、ウエス、砂等に吸収させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。

取扱い及び保管上の注意

取扱い	: 眼、皮膚にふれない様、取扱い時は適切な保護具を着用すること。
保管	
適切な保管条件	: 容器は密栓して冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料	: ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

暴露防止措置

設備対策	: 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する
管理濃度	: 設定されていない
許容濃度	: 日本産業衛生学会 設定されていない ACGIH 設定されていない
保護具	
呼吸器用の保護具	: 特に必要ない。
手の保護具	: 不浸透性保護手袋
眼の保護具	: ゴーグル型保護眼鏡。

物理 / 化学的性質

物理的状态	
形状	: 液体
色	: 無色
臭い	: 無臭
pH	: 約 10
物理的状态が変化する特定の温度・温度範囲	
沸点	: 約100
融点	: 約0
引火点	: 不燃性である
溶解性	
溶媒に対する溶解性	: 水 自由に混合

安定性及び反応性

安定性	: 通常条件で安定である。
避けるべき条件	: 日光、熱

有害性情報

急性毒性	: 多量に経口摂取すると、胃内で中和により二酸化炭素が発生し、胃粘膜を刺激して二次的に胃液の分泌を促す。 大量吸入すると、血液の酸塩基平衡を乱し、アルカローシスを起こすことがある。 (チオ硫酸ナトリウムとして) ラット 皮下注射 LD ₅₀ =4000mg/kg カエル 皮下注射 LD ₅₀ =6000mg/kg (炭酸ナトリウムとして) ラット 経口 LD ₅₀ =4000mg/kg マウス 腹腔内注射 LD ₅₀ =117mg/kg
------	---

局所効果

刺激性(皮膚、眼)	: アルカリ性なので、皮膚、粘液に対して刺激性がある。 (炭酸ナトリウムとして) ウサギ 皮膚 500mg/24H Moderate ウサギ 眼 100mg/24H Severe
感作性	: データなし
慢性毒性・長期毒性	: データなし
発がん性	: IARCおよびNTPのリストに記載されていない。
変異原性	: データなし
催奇形性	: データなし
生殖毒性	: データなし

環境影響情報

移動性	: データなし
残留性 / 分解性	: データなし

廃棄上の注意

残余廃棄物	: 多量の水で希釈し、pHを確認した後、下水に流す。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。
容器	: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後処分する。

輸送上の注意

国内規制	: 適用法令なし
国連分類	: 分類基準に該当しない
輸送の特定の安全対策および条件	: 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がない様に積み込み荷崩れの防止を確実にを行う。

適用法規

化学物質管理促進法	: 非該当
毒物および劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当

その他

引用文献等

化学大事典 (共立出版)

この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意してください。

なお、注意事項は通常の実取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合は、その用途・用法に適した安全対策を施してください。

また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。